

青葉会会報

2018年度版



東北大学学友会
オリエンテーリング部

目次

事務局よりご挨拶	2
2018 年度執行部の紹介	3
2017 年度東北大学学友会オリエンテーリング部の記録	4
選手コメント	8
佐藤誠也（男子選手権リレー 1 走）	9
北見匠（男子選手権リレー 2 走）	9
佐藤俊太郎（男子選手権リレー 3 走）	10
長谷川真子（女子選手権リレー 1 走）	11
高橋友理奈（女子選手権リレー 2 走）	12
伊佐野はる香（女子選手権リレー 3 走）	12
平成 29 年度 青葉会会計決算報告	13
東北大大会・青葉会総会のお知らせ	14
寄付のお願い	16
事務局の連絡先	18

事務局よりご挨拶

事務局 関根直紀 (2014 年度入学)
会計 野中健太郎 (2014 年度入学)
広報 宇都宮淳志 (2014 年度入学)
小野陽平 (2014 年度入学)

拝啓

残暑の候、青葉会の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。今年度の青葉会は上記の通り、事務局－関根、会計－野中、広報－宇都宮・小野が運営しております。

まず、はじめに昨年度のインカレの結果を振り返らせていただきます。昨年度の秋インカレは、一日目にスプリント競技が岐阜県大垣市の市街地で行われ、二日目にロング・ディスタンス競技が岐阜県不破郡関ヶ原町で行われました。スプリント競技部門では伊東加織(2年)(※学年は当時のもの。以下同様)が6位入賞、ロング・ディスタンス部門では佐藤俊太郎(4年)が2位入賞、臼井沙耶香(3年)が3位入賞するなど、素晴らしい成績を収めました。

春インカレは、栃木県日光市の「不動の滝」にて、一日目にミドル・ディスタンス競技、二日目にリレー競技が行われました。ミドル・ディスタンス競技部門では長谷川真子(4年)が5位入賞、高橋友理奈(3年)が6位入賞、リレー競技部門では男女ともに2位入賞、さらに部の最大の目標であった山川杯を獲得するなど、ここ数年で類をみないほど好成績を残しました。女子のリレーは3連覇がかかっていたが、勝負は最後までもつれ込み、千葉大に僅か6秒差で負けるというとても悔しい展開でした。部全体としてとても高いレベルを維持しており、来年度も期待できそうです。

また、日本代表選手として世界の舞台に挑戦する部員もいます。今年度、JWOCは7月9-14日にハンガリーで、WUOCは7月17日-21日にフィンランドで開催されました。東北大からはJWOCに北見匠(2016年度入学)、伊東加織(2016年度入学)、金子哲士(2017年度入学)が、WUOCに高橋友理奈(2015年度入学)が選出され、出場しました。

また、今年度は新入生が49名(うち女子5名)入部し、部全体の人数としては総勢130名ほどとなり、去年にも増して大所帯となりました。部の益々の発展とともに、年度が変わってもそのような環境が継続していくことは、とても喜ばしいことだと思います。大会会場などで大人数の集団を見かけましたら、ぜひお声をかけください。

さて、今年度の東北大学オリエンテーリング大会は9月30日に岩切で開催されます。3年生を中心に、熱心に準備が進められているようです。また、4年生が企画している前日大会は、多賀城地区緩衝緑地にてウルTRASプリントが行われるようです。両日ともぜひご参加くださいますよう、運営者に代わりましてお願い申し上げます。

末筆ながら、青葉会の皆様のご健康とご多幸をお祈りしてご挨拶とさせていただきます。

敬具

2018年8月 関根直紀

2018 年度執行部紹介

主将：北見 匠 (3年)
副将：唐木 朋也 (2年)
主務：八重樫 篤矢 (3年)
副務：星 歩夢 (2年)
会計：飯田 司 (2年)
会計監査：藺部 駿太 (2年)

以上、6名で2018年度執行部を努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

主将の言葉

北見 匠 (2016年度入学)

2018年度主将を務めさせていただきます、3年の北見匠と申します。この1年、どうぞよろしくお願い致します。

2018年度主将としてご挨拶申し上げます。

昨年度、当部は「選手権リレー優勝」「山川杯奪還」を目標に掲げていました。その目標に向かい1年間取り組んだ結果、選手権リレーで男子は東京大学に、女子は千葉大学に及ばず負けて準優勝でしたが、山川杯を6年ぶりに獲得することができました。男女アベック準優勝というのは快挙のように聞こえますが私たちにとっては優勝の目標を達成できず、悔しさが残りました。一方、山川杯の奪還は達成することができました。男子一般リレーでは東大の入賞独占を3年ぶりに阻止し、女子一般、ミックスでも入賞し、層が厚く強い東北大を見せつけられました。高本さんを中心に東北大学一丸となれた結果だと考えます。

今年度の目標は、「選手権リレー優勝」「山川杯獲得」です。男子はここ近年優勝できておらず、女子は昨年度で連覇が途切れてしまい、また一から挑戦して参ります。山川杯は部としての強さの証です。昨年度まとまった部を今年度はさらに強固にし、山川杯連取を目指します。

また、今年度は新たに新入生が49名入部し、総勢130名となりかなり大きくなりました。新人が入ることで部の雰囲気は新しくなりました。東北大OLCの今までを崩すことがないようまとめ、部全体で切磋琢磨し、各々成長できるような場にできるように主将として努力して参ります。

最後になりましたが、先輩方の日々のご支援に対してこの場で感謝申し上げます。今後ともご支援ご厚情を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2017年度東北大学学友会オリエンテーリング部の記録

岐阜インカレスプリント・ロング2017

スプリント選手権クラス				2017年 11月11日			
ME 3.7km ↑ 44m			WE 2.9km ↑ 34m				
1	種市雅也	14:02	東京大学2	1	佐野萌子	13:39	京都女子大学3
2	松尾怜治	14:28	東京大学4	2	増澤すず	14:00	筑波大学2
3	角田貴大	14:43	横浜市立大学4	3	勝山佳恵	14:09	茨城大学3
4	高野兼也	14:50	新潟大学4	4	宮本和奏	14:27	筑波大学1
5	大橋陽樹	15:04	東京大学2	5	伊部琴美	14:28	名古屋大学1
6	杉浦弘太郎	15:06	名古屋大学4	6	伊東加織	14:34	東北大学2
15	北見匠	15:24	東北大学2	7	長谷川真子	14:37	東北大学4
24	堀江優貴	16:09	東北大学4	17	伊佐野はる香	16:12	東北大学3
26	青芳龍	16:12	東北大学2				
28	佐藤俊太郎	16:16	東北大学4				
30	谷口恵祐	16:22	東北大学2				
47	高本育弥	18:27	東北大学3				
	鳥居洸太	DISQ	東北大学2				
	井上雄斗	DISQ	東北大学3				

ロング選手権クラス				2017年11月12日			
ME 8.0km ↑ 410m			WE 5.3km ↑ 230m				
1	松尾怜治	1:09:49	東京大学4	1	勝山佳恵	0:56:22	茨城大学3
2	佐藤俊太郎	1:11:29	東北大学4	2	増澤すず	0:58:37	筑波大学2
3	稲森剛	1:12:38	横浜国立大学3	3	臼井沙耶香	1:01:24	東北大学3
4	種市雅也	1:13:27	東京大学2	4	宮本和奏	1:02:07	筑波大学1
5	宮本樹	1:15:23	東京大学3	5	長崎早也香	1:05:38	名古屋大学4
6	糸潤哉	1:16:19	東京大学4	6	出田涼子	1:07:23	大阪大学2
20	佐藤誠也	1:21:47	東北大学3	7	伊佐野はる香	1:07:48	東北大学3
22	長岡凌生	1:23:58	東北大学2	10	高橋友理奈	1:09:17	東北大学3
35	小平修	1:29:23	東北大学3	11	長谷川真子	1:10:53	東北大学4
41	北見匠	1:31:27	東北大学2				
45	久米悠介	1:35:57	東北大学2				
49	小泉淳平	1:38:25	東北大学3				
51	青芳龍	1:39:38	東北大学2				
52	富田涼介	1:42:18	東北大学4				
60	堀江優貴	1:56:43	東北大学4				

ロング一般クラス(入賞者)				2017年11月12日			
MUL1 3.9km ↑ 230m			MUL2 3.7km ↑ 215m				
1	横山裕晃	0:35:23	東北大学3	3	高本育弥	0:38:59	東北大学3
2	小林隆嗣	0:36:10	東北大学4				

MUS 2.1km ↑130m				MUF1 2.3km ↑120m			
2	黒澤祐貴	0:24:50	東北大学3	3	山田基生	0:26:29	東北大学1
3	柴山享佑	0:26:49	東北大学4				

MUF2 2.3km ↑120m				WUL 2.5km ↑170m			
1	金子哲士	0:21:52	東北大学1	1	青代香菜子	0:35:39	東北大学2
				2	高橋ひなの	0:37:57	東北大学3

日光インカレミドル・リレー2017

ミドル選手権クラス				2018年3月10日			
ME 4.7km ↑195m				WE 3.8km ↑110m			
1	上島浩平	0:34:42	慶應義塾大学3	1	勝山佳恵	0:35:15	茨城大学
2	稲森剛	0:34:51	横浜国立大学3	2	村田茉奈美	0:38:23	フェリス女学院大3
3	伊藤樹	0:34:59	横浜国立大学3	3	山岸夏希	0:38:29	筑波大学3
4	柴沼健	0:36:02	早稲田大学3	4	佐野萌子	0:39:09	京都女子大学3
5	高野兼也	0:36:09	新潟大学4	5	長谷川真子	0:40:12	東北大学4
6	南河駿	0:36:54	名古屋大学4	6	高橋友理奈	0:40:19	東北大学3
12	坂本讓	0:38:10	東北大学4	8	伊佐野はる香	0:41:13	東北大学3
15	佐藤俊太郎	0:38:34	東北大学4	17	臼井沙耶香	0:46:27	東北大学3
18	北見匠	0:39:01	東北大学2	20	高橋ひなの	0:47:18	東北大学3
26	高本育弥	0:40:07	東北大学3	25	伊東加織	0:49:58	東北大学2
27	横山裕晃	0:40:10	東北大学3				
40	鳥居洸太	0:42:22	東北大学2				
48	藺部駿太	0:44:13	東北大学1				
50	堀江優貴	0:44:45	東北大学4				
58	小林隆嗣	0:49:21	東北大学4				
	高橋駿	DISQ	東北大学2				

ミドル一般クラス(入賞者)				2018年3月10日			
MUA1 3.6km ↑135m				MUA2 3.6km ↑150m			
3	伊藤光祐	0:24:31	東北大学2	2	佐藤誠也	0:26:03	東北大学3

MUA4 3.5km ↑140m				MUB 1.9km ↑90m			
2	長岡凌生	0:24:23	東北大学2	3	黒澤祐貴	0:15:09	東北大学3

MUF1 2.9km ↑110m				MUF2 2.9km ↑100m			
3	山田基生	0:20:47	東北大学1	1	金子哲士	0:19:48	東北大学1

WUA2 2.5km ↑95m				WUF 1.7km ↑65m			
1	青代香菜子	0:22:48	東北大学2	2	小林祐子	0:14:34	東北大学1

男子リレー選手権クラス				2018年3月11日
	MER	1走	2走	3走
1	東京大学 2:06:59 (4)	佐藤 遼平 / MER-XB 0:43:19 / 4 0:43:19 / 4	松尾 怜治 / MER-YA 0:41:53 / 1 1:25:12 / 1	種市 雅也 / MER-ZC 0:41:47 / 1 2:06:59 / 1
2	東北大学 2:10:28 (7)	佐藤 誠也 / MER-YB 0:43:06 / 1 0:43:06 / 1	北見 匠 / MER-XC 0:43:48 / 3 1:26:54 / 2	佐藤 俊太郎 / MER-ZA 0:43:34 / 6 2:10:28 / 2
3	慶應義塾大学 2:14:06 (5)	桃井 陽佑 / MER-YC 0:43:09 / 3 0:43:09 / 3	上島 浩平 / MER-XA 0:44:15 / 4 1:27:24 / 3	坂梨 敬哉 / MER-ZB 0:46:42 / 8 2:14:06 / 3
4	早稲田大学 2:15:05 (6)	大石 洋輔 / MER-YB 0:45:37 / 7 0:45:37 / 7	友田 雅大 / MER-XA 0:46:09 / 6 1:31:46 / 5	柴沼 健 / MER-ZC 0:43:19 / 5 2:15:05 / 4
5	京都大学 2:16:30 (8)	森河 俊成 / MER-YC 0:43:07 / 2 0:43:07 / 2	伴 広輝 / MER-ZB 0:46:04 / 5 1:29:11 / 4	岩井 龍之介 / MER-XA 0:47:19 / 10 2:16:30 / 5
6	名古屋大学 2:18:42 (2)	堀尾 健太郎 / MER-XA 0:43:32 / 5 0:43:32 / 5	竹内 公一 / MER-ZB 0:48:18 / 8 1:31:50 / 6	南河 駿 / MER-YC 0:46:52 / 9 2:18:42 / 6

女子リレー選手権クラス				2018年3月11日
	WER	1走	2走	3走
1	千葉大学 2:21:09 (56)	森谷 風香 / WER-XA 0:44:57 / 2 0:44:57 / 2	稲垣 秀奈美 / WER-YC 0:51:50 / 8 1:36:47 / 4	香取 菜穂 / WER-ZB 0:44:22 / 1 2:21:09 / 1
2	東北大学 2:21:15 (51)	長谷川 真子 / WER-YB 0:49:33 / 4 0:49:33 / 4	高橋 友理奈 / WER-XC 0:46:16 / 2 1:35:49 / 3	伊佐野 はる香 WER-ZA 0:45:26 / 2 2:21:15 / 2
3	名古屋大学 2:24:04 (55)	片桐 麻那 / WER-YC 0:51:10 / 7 0:51:10 / 7	伊部 琴美 / WER-XB 0:44:05 / 1 1:35:15 / 1	長崎 早也香 / WER-ZA 0:48:49 / 3 2:24:04 / 3
4	フェリス女学院大学 2:31:29 (57)	成澤 春菜 / WER-ZA 0:48:16 / 3 0:48:16 / 3	大類 菜美 / WER-XC 0:47:31 / 5 1:35:47 / 2	村田 菜奈美 / WER-YB 0:55:42 / 7 2:31:29 / 4
5	新潟大学 2:40:10 (70)	鈴木 友紀乃 / WER-YA 0:49:40 / 5 0:49:40 / 5	井村 唯 / WER-ZC 0:57:21 / 11 1:47:01 / 5	山内 美輝 / WER-XB 0:53:09 / 5 2:40:10 / 5
6	立教大学 2:44:04 (81)	世良 史佳 / WER-ZB 0:59:30 / 12 0:59:30 / 12	香取 瑞穂 / WER-YA 0:52:41 / 9 1:52:11 / 9	木村 るび子 / WER-XC 0:51:53 / 4 2:44:04 / 6

リレー一般クラス(入賞チーム)			2018年3月11日	
	MUR	1走	2走	3走
2	東北大学MA	長岡 凌生 / MUR-Z	横山 裕晃 / MUR-X	小林 隆嗣 / MUR-Y
	1:12:10 (102)	0:24:36 / 4 0:24:36 / 4	0:24:55 / 1 0:49:31 / 2	0:22:39 / 2 1:12:10 / 2
	WUR	1走	2走	3走
1	東北大学WA	高橋 ひなの / WUR-X	伊東 加織 / WUR-Z	臼井 沙耶香 / WUR-Y
	1:19:57 (301)	0:28:33 / 1 0:28:33 / 1	0:24:03 / 1 0:52:36 / 1	0:27:21 / 2 1:19:57 / 1
	XUR	1走	2走	3走
1	東北大学XA	堀江 優貴 / XUR-Z	青代 香菜子 / XUR-Y	富田 涼介 / XUR-X
	1:01:51 (402)	0:19:00 / 1 0:19:00 / 1	0:24:40 / 5 0:43:40 / 1	0:18:11 / 1 1:01:51 / 1
2	東北大学XB	川又 美南 / XUR-X	福永 貴弘 / XUR-Z	井上 雄斗 / XUR-Y
	1:09:59 (403)	0:28:35 / 7 0:28:35 / 7	0:20:26 / 2 0:49:01 / 2	0:20:58 / 6 1:09:59 / 2
新特 (6位)	東北大学XE	久住 結香 / XUR-Y	石森 晃 / XUR-Z	嶋崎 渉 / XUR-X
	1:24:42 -406	0:37:00 / 11 0:37:00 / 11	0:27:19 / 8 1:04:19 / 6	0:20:23 / 5 1:24:42 / 6

選手コメント

昨年度インカレリレーで選手権クラスとして走ってきた選手にそれまでの努力や大会が終わって今の気持ちなどを記事にいただきました。

<昨年度リレー選手権クラス出場者>

佐藤誠也 (2015 年度入学)	(男子選手権リレー 1 走)
北見匠 (2016 年度入学)	(男子選手権リレー 2 走)
佐藤俊太郎 (2014 年度入学)	(男子選手権リレー 3 走)
長谷川真子 (2014 年度入学)	(女子選手権リレー 1 走)
高橋友理奈 (2015 年度入学)	(女子選手権リレー 2 走)
伊佐野はる香 (2015 年度入学)	(女子選手権リレー 3 走)

また、今年度の JWOC、WUOC に以下の 4 選手が出場しました。

北見匠 (2016 年度入学)	(JWOC 出場)
伊東加織 (2016 年度入学)	(JWOC 出場)
金子哲士 (2017 年度入学)	(JWOC 出場)
高橋友理奈 (2015 年度入学)	(WUOC 出場)

彼らのこれからの活躍に期待しましょう。また、このほかにも実力のある選手、本気でオリエンテーリングに打ち込む選手が数多くいます。ウェブサイトや SNS で結果をみるだけでなく、実際に大会に足を運んで一生懸命頑張る後輩たちを応援しましょう。

予定が合わず、なかなか顔を出せない方も、インカレの応援メッセージや青葉会への寄付など、できる範囲でエールを送りませんか？

男子選手権リレーコメント

佐藤誠也 (2015 年度入学)

選手権リレー1 走を走りました佐藤誠也です。自分のレースとしては完璧とは言えないものの、当時出せる実力以上は出し切れたよいレースをすることができました。結果は2位で悔しさはありますが満足した気持ちも大きいのが正直なところ。その理由は、リレーのスタートラインに立った時点で東大に比べて結構なビハインドを感じてしまっていたからであると思います(当日の3人がレースでどれだけ出し切れたかを考えれば東大にも劣っていなかったと思っています)。優勝するつもりで取り組み、優勝も可能であると思っておりましたが、頭の奥では実力差を計算し、その優勝は東大のミスが前提になっていた気がします。オリエンテーリングはミスも含め実力なので、相手のミスによって優勝できても嬉しいことには変わりないですが、相手が完璧なレースをしても勝てる実力があるに越したことはありません。

昨年度初め、東北大学は東大にはもちろん他大に比べて実力が足りていませんでした。そこから選手権リレー2位まで実力を詰めたのは、選手権リレー立候補メンバーでの取り組み方や雰囲気よかったからだと思います。練習会後にファシユタを取り入れ、後期からは譲さんや小松さんが新たな取り組みを導入してくださり、これらは少なからずメンバーのまとまりと実力の底上げにつながったと思っています。今年度も昨年度のような雰囲気が続いていけば、スタートラインの時点でビハインドを感じることもない強いチームになり、優勝がさらに現実的なものに近づくと感じています。また、自分自身も最上級生としてその一端を担う役割ができればいいと思っています。

今年のインカレではさらに強くなった東北大をお見せできればと思います。これからも東北大 OLC の活躍にどうぞご期待お願いいたします。

男子選手権リレーコメント

北見匠 (2016 年度入学)

選手権リレー2 走を走りました北見匠です。まずは、応援してくださった OBOG の方々本当にありがとうございました。リレー前日のナイトミーティングで皆様からの応援メッセージを受け、現役生だけでなく OBOG の方々も皆応援してくださっているのを感じ、より一層優勝への想いが増しました。しかし、結果は準優勝。優勝には届きませんでした。皆様のお力添えをふいにしてしまうような結果で悔しいです。

昨年度、選手権メンバーに立候補したのは自分が速くなりたく、自分が強くなることで東北大のリレー優勝に協力できるという考えからでした。その思いを胸に波はありましたが成長し、選手権リレーを走ることになりました。秋インカレ後あたりから自分のオリエンテーリングが見えてきてそれとともにトップレベルの選手にくらいつけるようになり、自分が走って選手権リレー優勝するという想いになった中でのメンバー入りでうれしく、気合いが入りました。

勝つビジョンを考えるために他大分析すると最大の敵はやはり東大でした。層が厚く、特に種市と松尾さんの二人は別格で、東北大は3人がベストな走りをしないと勝てない相手でした。勝つための最善手として2走を任せられ、役割は離されることなくトップかトップ集団で3走に繋ぐことでした。

そしてリレー当日です。オーダーを見ると1走は集団で帰ってきそうで2走でばらばらになり、3走で2走の順位のまま終わるかどうかという予想でした。そして1走の誠也さんは想定通りしっかりトップ集団で、なおかつ1位で帰ってきました。1走で崩れることが多かった東北大でしたが誠也さんは1位で来て繋いでくれ、このまま1位で3走に渡すと心に決めて走り出しました。トップ集団は5校でどの大学も実力者で特に東大の松尾さんと慶応の上島さんは速いので、うまく使って後続を突き放してわずかな隙に出し抜こうとしました。中盤まではその2人と一緒に3人でいけたのですが、その後ミスしたところで逆に東大に出し抜かれてしまいました。悔しかったです。離されてはいけなかったのに離され、そのまま差をつけられチェンジオーバーしました。3走の俊太郎さんは良い走りでしたが、東大は盤石の走りで優勝。2走で自分が離されたことが敗因でした。あのミスは悔やんでも悔やみきれません。

現役最後の俊太郎さんと力強く部を引っ張ってくれた高本さんに優勝旗を持ってもらうことが叶いませんでした。東北大の選手権リレー優勝がまだ達成できず、女子も負けてしまいました。悔しかったこのインカレはずっと忘れなれないと思います。自分には選手権リレーを走る機会が2回残されています。この悔しかった気持ちを忘れず成長し、自分達の手で優勝をつかみ取ります。

応援ありがとうございました。

男子選手権リレーコメント

佐藤 俊太郎 (2014 年度入学)

2017 年度インカレリレー男子選手権クラスにおいて3走を務めました佐藤俊太郎と申します。昨年度は2位入賞という結果で2年ぶりの入賞を果たすことができましたが、目標であった優勝には届きませんでした。

2017 年度選手権リレーに立候補したメンバーは4年目が2人、3年目が4人、2年目が4人の計10人でした。例年よりも若いメンバーが中心のチーム構成でかつ誰も選手権リレーを経験したことがなかったため、非常に不安のあるスタートとなりました。事実、前期は出場する大会のほとんどで主に関東学連に差を見せつけられることが多く、選手権リレー優勝を目標としながらも全く手が届きそうにないものでした。後期に入って、このままではいけないということで、「LINE グループで毎日1レグずつルート等を検討する」「毎日の取り組みを報告しあう」といった新たな取り組みを始めました。提案して下さったアドバイザーの方々の理想通りになったとは言えませんが、冬合宿のあたりから少しずつ優勝を狙えるチームになってきました。

昨年度のリレーメンバーはレース一本の順位のみで決め、佐藤誠也(2015 入学) - 北見(2016 入学) - 佐藤俊太郎の3人で挑むこととなりました。インカレ本番は佐藤誠也が集団のトップで帰還する最高の滑り出しでしたが、その後2、3走でおおよそ90秒ずつ差をつけられ準優勝という結果で終わりました。

5年ぶりの優勝を達成することはできませんでしたが、3人全員が43分台でまとめるなど実力を出し切った準優勝でした。それゆえに東京大学の壁はやはり高いものであることを痛感させられました。私が特に強く感じたのはエースの力の差が大きいということです。学生トップの実力を常に発揮できるような選手がチームに一人ないし二人は欲しいところです。私は今年度アドバイザーとして部に関わることになったので、現役の選手たちと一緒に速くなるための方法を探っていこうと思います。

最後になりましたが、一年間ともに頑張った選手権メンバー、支えてくれた正毅さん、小松さんをはじめとするアドバイザーの方々、応援して下さった部員やOB・OGの皆様、ありがとうございました。

また、青葉会報でこのような場を設けていただきありがとうございます。今年度も部の目標として選手権リレー優勝が掲げられています。引き続き応援のほどよろしく願いいたします。

女子選手権リレーコメント

長谷川真子（2014年度入学）

2017年度女子選手権リレーで1走を務めました、長谷川真子です。結果は、6秒差で準優勝でした。3連覇を目標にしていたため、ただただ悔しかったです。

私は昨年度の女子選手権リレーでも1走を走らせてもらいました。優勝はできましたが、自分のレースが悔しい内容だったので、来年も1走を走って、「優勝に貢献する走りをして優勝する」ことを目標に決めました。この目標を立てたはいいものの、4年前半は公務員試験でほぼ部活に行けませんでした。夏ごろに復帰した後は、後輩たちはどんどん速くなっていく中、自分は実力があまり伸びず、もどかしい時期が続きました。

リレーメンバーになるビジョンがしばらく見えませんでした。2月の山リハリレーで何かつかむことができ、その後ぐんと調子が上がり、リレーメンバーになることができました。合宿の夜に話し合っ、昨年度と同じ走順に決まりました。少し前まで非常に厳しいな、思っていたことが現実になり、昨年のインカレリレー後に決めた目標に挑戦する権利を得ることができて、身の引き締まる思いでした。

インカレ本番、1走の自分の役割は、優勝を狙える位置で友理奈につなぐこと。大事なものは筑波との差で、あとは、友理奈とはる香がいれば大丈夫。他の人は気にせず、いつも通りの自分のレースをするだけ、と考えていました。だから、自分がゴールした後、自分の順位と筑波がまだ帰ってきていないということを聞いて、1走の役割は果たせたのかな、と思っていました。しかし、結果としては、1走が速かった千葉が優勝、千葉とは1走終了時点で約4分半の差がついていました。考えてみたら、優勝に貢献する走りをして優勝するという目標をずっと言っていたのに、1走は大きく遅れなければよくて、あとは友理奈はる香に任せる、という人任せな考えをしていたことに気づきました。勝つ、という気持ちがリレーでは足りていませんでした。

最後のインカレは悔しい思いで終わってしまいましたが、インカレに向けてみんなで切磋琢磨して取り組んだ日々はとても充実していました。周りを見ればいつでも、支えてくれる先輩がいて、後輩にかっこいい姿を見せ続けている同期がいて、努力家な後輩たちがいました。そんな環境があったから、私も4年生の最後の最後まで頑張り続けることができました。この素晴らしい環境をこれまで作ってくださった青葉会の先輩方に、心より感謝申し上げます。これからは、私もOGとして、後輩の活躍を応援し続けたいと思います。

女子選手権リレーコメント

高橋友理奈（2015年度入学）

女子選手権リレー2走を走りました高橋友理奈です。まず、1年間支えてくださったアドバイザーの皆さん、会場まで応援しに来てくださった先輩方、陰ながら応援して下さったOB・OGの皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。しかし、応援して下さった方たちに優勝するところをお見せできなかったことが心残りですし、自分自身もとても悔しいです。

一昨年、去年と2連覇し、もちろん3連覇を狙っていたし、1年間女子みんなで切磋琢磨して頑張ってきたところだったので、優勝しか考えていませんでした。それだけに6秒差での準優勝はとても悔しいですし、自分があの時、大きくミスしていなければ・・・という気持ちも消えません。

今年度の選手権リレーではこの悔しさを絶対に晴らせるように、また女子みんなで切磋琢磨しながら頑張ってもらいますので、陰ながら見守って頂ければ幸いです。拙い文章ではありますが、最後までお読みいただき、ありがとうございます。

女子選手権リレーコメント

伊佐野はる香（2015年度入学）

2017年度インカレリレー女子選手権三走を務めました、現四年の伊佐野です。今年もこの記事で青葉会の皆様に優勝の報告をしたかったのですが、あと一歩及ばず、二位という結果になってしまいました。順位が確定した時は、負けたことへの純粋な悔しさやレッグ一つ一つを振り返って本当に最善だったか問う時の悔しさはもちろん、申し訳なさや、一周回って虚脱感さえ感じていたのだと今考えると思います。誰が何と言おうと、これまでの努力が優勝するに足るものではなかったと証明された瞬間でした。

ところが、二位という結果やそれまでの取り組みに対して、悔しいだろうが胸を張れと言ってくれた方がいます。昨年度女子アドバイザーとして私たちを支えてきてくださった先輩です。実を言うと当時はその言葉を素直に受け入れられず、でも負けたんだよなあ、と思っていました。しかし今なら、何も強敵は優勝した千葉大学ばかりではあらず、その他多くの強豪校に勝ったのは紛れもなく東北女子が一年間取り組んできた結果であるのだと思えます。一人一人の活動を肯定してくれたこの言葉に感謝しています。

とはいえ、優勝には届かなかったのは事実でありますし、目の前で他大学の選手がゴールした時の絶望も一年間を省みた時の不甲斐なさや虚無感もう感じたくありません。今年のメンバーはまだまだ分かりませんが、東北女子のベストメンバーが再び優勝を搔っ攫ってくるように、個人としても誰にも負けない選手になるように、邁進してまいります。

最後に、応援して下さった皆様、誠にありがとうございました。また今年も東北大学の活躍を祈って見ていただけると嬉しいです。

平成 29 年度 青葉会会計決算報告

(収入)

前年度繰越金	¥98,080
寄付金	¥90,000
合計	¥188,080

(支出)

世界大会支援金	¥20,000
インカレロング広告代	¥32,000
インカレロング花束代	¥12,000
インカレミドル広告代	¥35,000
インカレミドル花束代	¥25,600
会報郵送代	¥10,360
封筒代	¥2,721
コピー用紙	¥1,616
インク代	¥ 5,323
手数料	¥216
合計	¥144,836

次年度繰り越し分	¥43,244
----------	---------

以上、相違のないことを誓います。

平成 29 年度青葉会会計 清水 敬太

東北大大会・青葉会総会のお知らせ

この場をお借りして、東北大大会と青葉会総会のお知らせをさせていただきます。

◇ 東北大学大会（トレイン：岩切）

開催日：9月30日（日）

今年の東北大大会は4年前の大会でも開催された、OB・OGには馴染み深い岩切で行われます。競技形式はミドル・ディスタンスとのことです。三年生が一生懸命準備をしているとのことで、皆様ぜひご参加ください。29日（土）に行われます前日大会は四年生中心に多賀城緩衝緑地にてウルトラスプリントを予定しているとのことです。こちらもぜひ参加ください。

東北大大会 HP

http://www.olc.org.tohoku.ac.jp/taikaiHP/41st_tohokuolc/index.html

前日大会 HP

http://www.olc.org.tohoku.ac.jp/taikaiHP/41th_pretohokuolc

◇ 青葉会総会・飲み会（トレイン：つば八仙台駅前店）

開催日：9月29日（土）

今年の青葉会総会&飲み会は、仙台駅から徒歩約3分のつば八仙台駅前店にて行います。時間は19時頃開始を予定していますが、前日イベントのスケジュール次第では遅くなる可能性があります。

多数の方にご参加いただければ幸いです。参加申込は下記アドレスに電子メールでお願い致します。

総会は飲み会の始めに行う予定ですが、取り上げてほしい議題などございましたら、参加申し込みのメールにその内容も記載ください。議題の数が多い場合には、飲み会とは別の会場で青葉会総会を行う場合があります。その場合は事前にこちらからメールで連絡を差し上げるなどの対応をとらせていただきますのでご了承ください。

予算は3000円前後の予定です。参加費は当日回収させていただきます。青葉会の先輩や後輩、同期と会える滅多にない機会です。皆様の参加を心よりお待ちしております。

詳細が決まりましたら、連絡いただいたメールアドレスにご連絡差し上げます。よろしくお願ひ致します。

青葉会総会・飲み会参加申し込み先

: 赤井章吾 (2014 年度入学)

E-mail

: shogoakai1123@gmail.com

携帯 (急ぎの場合)

: 090-1117-6794

申込締切 9月14日 (金)

Facebook について

今年度も Facebook の青葉会グループの管理および更新を行っています。Facebook アカウントをお持ちで、まだ参加されていない OB・OG の方に関しましては、私どもが気付き次第招待させて頂いておりますが、申し訳ないことに把握しきれない場合がございます。その場合は、青葉会のページを表示していただき、右上にある「グループに参加」をクリックして頂ければ順次承認いたしますので、是非ご参加ください。

昨年度に引き続き、部内でのイベントや大会の様子をお伝えしていく予定ですので、お時間がございましたらご覧になっていただければと思います。

Facebook の青葉会グループのアドレスは以下になります。アカウントをお持ちの方は是非一度ご高覧ください。

「東北大 OLC 青葉会」

<https://www.facebook.com/groups/390878427647940/>

寄付のお願い

青葉会運営資金は、東北大学オリエンテーリング部OB・OGの皆様の寄付によって賄われております。インカレの広告費や入賞者への花束代などはこの運営資金から捻出されています。また、今年も世界の舞台に挑戦する部員がいますが、実力のある選手が金銭的な問題で挑戦することを躊躇してしまわないよう、可能な支援をしていきたいと思っています。

青葉会として、現役生への期待を込めて、できるだけ援助ができればと考えております。誠に恐縮ではございますが、寄付をよろしくお願い致します。一口1000円です。できれば3口以上のご協力をお願いします。また、寄付は郵便振替にて受付けます。

加入者名：「青葉会」 口座番号：02280-8-4697

(同封のもしくは郵便局に備え付けてある振込用紙に「加入者名」「口座番号」に上記の文言・番号をご記入ください。金額は一口1000円から、任意の金額をお書きください。)

通信欄に住所、氏名、電話番号、E-mailアドレスをご記入ください。

郵便振込ではなく、銀行振込などをご希望の方については個別に対応させていただきますので、事務局までご連絡ください。

今年度中に寄付していただいた方のお名前は、次回の青葉会会報にて掲載させていただくことを予定しております。その際にご自身の氏名を掲載してほしくないという方は、寄付した際に下記連絡先にその旨お伝えください。

昨年度寄付していただいた方々

昨年度は青葉会に寄付していただきまして、誠にありがとうございました。青葉会は皆様の寄付により支えられております。

<寄付を頂いた方の氏名（敬称略）>

中村憲、佐藤悠太、小林啓恵、ハヤノテツオ、廣澤孝、山崎健太郎、平井伸治、
石塚脩之、柏倉圭介、石井亘、槍山純、日隈友也、橋場良太、田村直登、佐藤建志、
西本昌史、太田貴広、五月女貴平、臼井祐人、原田龍馬、吉川拓寿

事務局の連絡先

青葉会へのご意見、ご要望などございましたら、下記の事務局までご連絡ください。

また、住所変更や、パソコンのメールアドレスを変更した場合なども、お手数ですが、下記アドレスまでご連絡ください。

青葉会問い合わせ先：事務局長 関根直紀（2014年度入学）
E-mail：sek.naoki.mnmn1212@gmail.com
携帯（急ぎの場合）：090-1778-0058

2018年度青葉会会報
2018年8月発行
発行責任者：関根直紀